

市政革新パンフレット

特250
586

☆
第一輯

市★政★革★新★座★談★會

東京市政革新同盟刊



始



特250
586

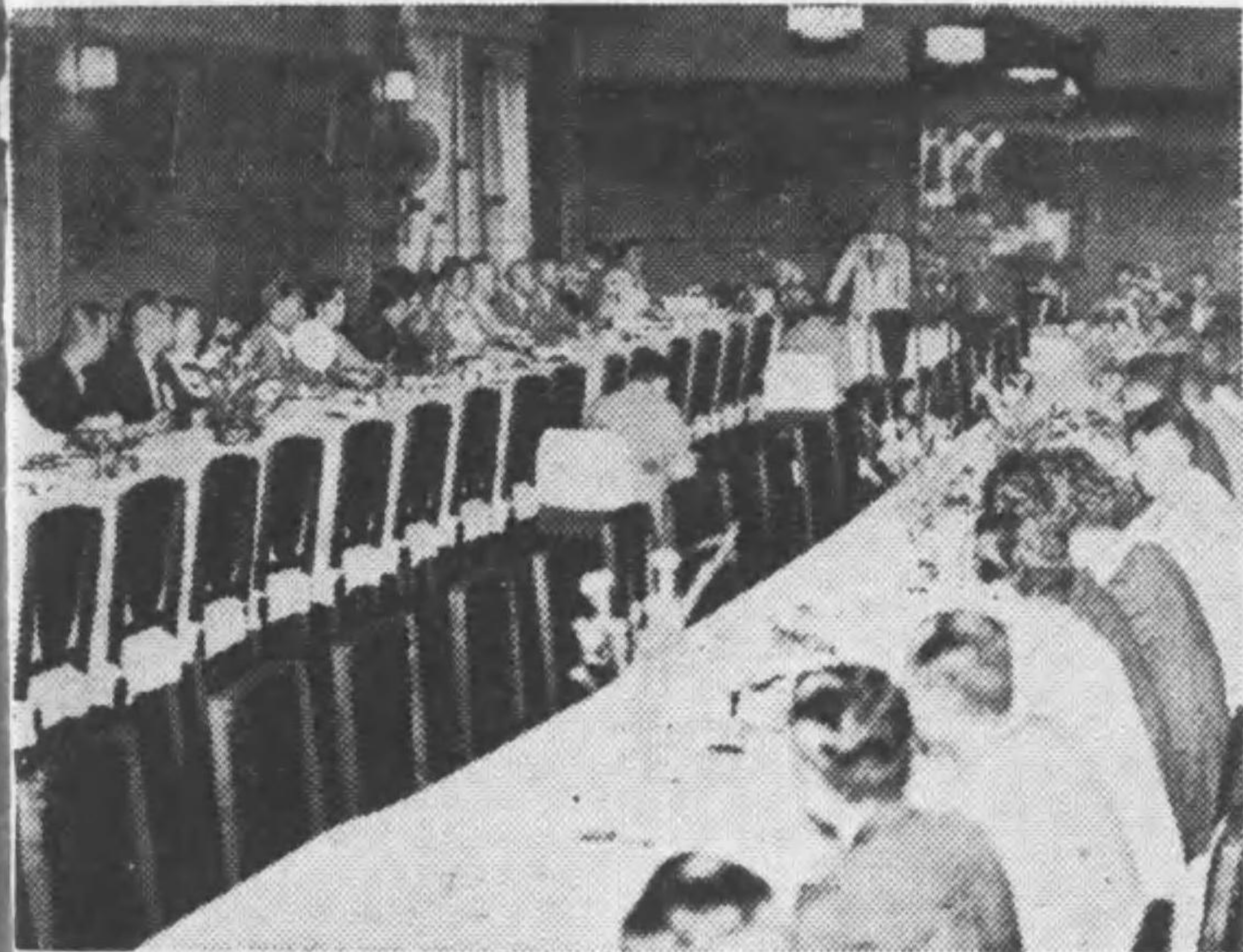
市政革新パンフレット・第一輯



市政革新座談會



日時 七月九日午後三時より
場所 丸の内中央亭
主催 東京市政革新同盟



丸山委員長の挨拶

★写真は座談會場

はしごがき

市政の諸問題に關し、本同盟では逐次パンフレットを發行することになつたが、先ず東京市首腦部の更迭並に新首腦部の成立に鑑み、去る七月九日丸ノ内中央亭に開催した「市政革新座談會」速記を収録、第一輯として刊行することとした。尙當日出席された諸氏は左の通りである。記して深甚の謝意を表する次第である。

招待者側 (五十音順)

前東京市産業局長
市政研究會
岩波書店主
選舉肅正中央聯盟
婦選獲得同盟
評論家
區會議員
大日本聯合青年團
區會議員
市政調査會常任理事
法學博士

荒井木 孟殿
荒波一 千殿
岩波茂 雄殿
伊藤房 枝殿
市川直 子殿
板垣幸 銀殿
石崎幸 銀殿
惠美唯 義殿
大森一 雄殿
岡野一 雄殿
大山卯次郎殿

東大名譽教授
讀賣新聞記者
丸之内署
内務省行政課長
婦人市政淨化聯盟
區會議員
元東京市助役
同盟通信社
教育家
樞密顧問官
評論家
東日論說委員

岡田和一郎殿
小幡義治殿
小川絹一殿
加藤於菟丸殿
金子しげり殿
木村正雄殿
菊池慎三殿
木村慎三殿
岸邊福進殿
窪田福雄殿
小田靜太郎殿
小林愛雄殿
近藤操殿

- | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| 全國理髮業組合組合長
萬朝報記者
大日本聯合青年團
市政調査會顧問
市政調査會
衆議員議員
醫學博士
市政調査會參事
貴族院議員
辯護士
著述家
實業家
評論家
報知新聞社
貴族院議員
市政研究會
市政調査會參事
貴族院議員
實業家
法政大學教授
東朝記者
報知新聞記者
法學博士 | 坂本重次郎殿
佐渡高一殿
下村虎六郎殿
新名直和殿
菅原忠治郎殿
添田敬一郎殿
竹内茂代殿
田邊定義殿
田澤義鋪殿
富田喜作殿
中澤辯次郎殿
中田敬義殿
新居格殿
二瓶俊彦殿
土方寧殿
橋本一郎殿
平野眞三殿
藤沼庄平殿
藤原俊雄殿
本間喜一殿
星野政雄殿
松本俊殿
松波仁一郎殿 | 選舉肅正中央聯盟
選舉肅正同盟會
東日記者
實業家
專修大學學生監補
中央教化團體聯合會
三井報恩會
元東京市參事
評論家
市政研究會
選舉肅正中央聯盟 | 主 催 者 側
本同盟委員長
常任委員
同
同
委員
同
同
本部書記
同 | 松原一彦殿
增田作太郎殿
松本博殿
三田尾松太郎殿
三井井動殿
宮西一積殿
山口安憲殿
山田忠正殿
山田わか殿
山田か殿
横山正一殿 | 丸山鶴吉殿
近藤山鶴殿
松野喜乾殿
市川清敏殿
石川賢吉殿
菊池賢寬殿
龍澤逸平殿
明石重圭殿
菅谷圭殿
手塚武殿 |
|--|--|--|--|--|--|

開 會 の 辭

(本同盟委員長 丸山鶴吉氏 主催者と致しまして、一寸御挨拶を申し上げます。東京市政革新同盟は今年の春の市會選舉に於て、推薦候補を立て、運動を試みたのでありますが、其の際、東京愛市聯盟を始め、麹町理想選舉團其他今日茲に御會堂を願ひました各位の非常な御聲援を得まして、選舉の結果は私共の所期致しましたところには背いたのでありますけれども、大方からは非常な成功であると言はれる結果を収めることが出来たのであります。これ偏へに御會堂の各位の御熱誠なる御聲援の賜物であると深く感謝を致して居る次第であります。それから總選舉其他のことがありまして、御會堂を煩すやうな機會がなく、従つて御禮申し上げる機會がありませんでしたから、此の機會に於きまして、茲に謹んで皆さんの熱烈なる御聲援に對しまして、厚く御禮を申し上げます次第であります。

又今日御會堂をお願ひ申し上げました處、御多忙中且つ酷暑の折にも拘りませず、既に出席の御通知を戴いて居りますのは、此の倍數位になつて居りまして、追々御列席下さることであらうと思つて居りますが、斯く多數御列席下さいましたことは、洵に革新同盟として有難き幸せでありまし

て、此の點に對しましても厚く御禮を申し上げる次第であります。

二

御承知の通り、いろいろの経緯を經まして新市長も決定致しましたので、東京市政革新同盟と致しましては、去る一日市長御就任間もない時でありましたが、東京市政革新に對する五つの項目に就ての革新同盟の意見を市長に申し出たのであります。而して市長からそれ／＼の項目に就て、大體趣旨は同感であるから、出来るだけ其の實現に努力すると云ふことのお答へを戴いたのであります。其の節、革新同盟は豫て大方の賛成を得て、市政諸般の問題に就て調査研究を致して居りますから、いろいろの案に就ての具體的意見は、何れ詳細に記し、更にお手許まで差し出すと云ふことを申し上げて歸りましたのであります。それで何れ差し出す豫定になつて居りますが、唯我々同盟のみで研究を致しました結果では、非常な不備、不満なものに終るだらう、従つて、これは、東京市政の問題に就て、常に深甚なる御關心をお持ちになつて居られます皆さん方のお集りを願ひまして、市政の各部門に就ての御意見を伺ひ、それらを綜合したる意見を私共革新同盟で市長に提出致すと云ふことにしたならば、此の市政革新に對する意見が、より以上、有効適切なるものになるであらう。故にこれはどうしてもさうしなければならぬ。而して廣く皆さんの、各方面からの御意見を伺ひ、それらを綜合して東京市政革新の大方針を定め、さうしてそれを提出し、市當局者に於

ては其の方針に則り、漸次東京市政の革新を斷行して貰ふやうにしたい。斯う云ふ趣旨で、今日茲に東京市政革新の問題に就ての座談會を催しました次第であります。いろいろの問題に就て、皆さんの忌憚ない御意見を御陳述願ひ度いと思ふのであります。而してそれが市政革新に對する意見となり、東京新市長の下に提出され、東京市政革新の爲に資することが非常に大であらうと思ふのであります。

時間も乏しいことありますから、早速座談會に入り度いと思ひます。お手許に差し上げました名簿の最後に「市政革新座談會要項」と云ふ一枚をつけて置きました。御覽の通り、大體大きな項目を十項目掲げて置きましたが、此の項目の順序に依りまして、段々御意見の御陳述を願ひ度いと思ふのであります。

別段決議をすると云ふやうなことはないのでありますけれども、議事の進行上、座長を設けることに致し度いと思ひます。潜越ながら其の推薦を主催者の私に御一任下されば幸せに存じますが。(拍手)皆さんの御同意を得たやうでありますから、私から御推薦申し上げます。松波仁一郎博士を座長に御推薦致し度いと思ひます。(拍手)

第一、人事に關する問題

松波(仁一)座長 先程丸山君から内々に座長を勤めないかと云ふお話がありましたので、其の
際先輩の土方(寧)先生、中田(敬義)先生、窪田(静太郎)先生等がお見えになつて居らつしやる
のだから、さうした先輩の方々にお願ひしたらどうか、と申し上げました處、此の暑い時期に御老
體を煩すのも如何かと思はれるからと云ふ話であります。それで又、さう云ふことならば斯う云ふ
會にお馴れになつて居る若い方も大分居らつしやつて居られるやうだから、さう云ふ方にお願ひし
たらどうかと云ふことを申し上げました處、餘り若くても困る、中位のところが丁度よいのだから
貴方がやつて下さいと云ふことでありますので、餘り御辭退しても如何かと存じ、潜越ながら座長
の役を勤めさして戴くことにしたのであります。どうぞ宜しくお願ひ致します。

先程丸山君からお話がありました様に、座談會の要項は一から十までありますが、先づ一の「人
事に關する問題」から始めることに致します。丸山君より説明を願ひます。

丸山鶴吉氏 近年東京市政に對する市民の信用は、全く地を拂ふ有様であります。此の信用失
墜の一つの大きな原因は、慥かに人事行政の不明朗にあると思ふのであります。殊に最近其の傾向

が非常に著しいのであります。東京市の人事の權能は殆んど市長の手の中にはなく、有力なる市
會議員、或ひは其の背後のボス勢力に依つて決定されると云ふ有様になつて居ります。従つて自
ら市の仕事に熱心に従事するよりは、其の市會議員なり、或ひはボスの機嫌を取ることが立身出世
の道であると云ふことになり、本當に有能有識の士が重用されないで、何にも出来ないやうな人が
重用されると云ふ傾向が段々濃厚になつて居るのであります。これが抑も市政萬般の腐敗
の根源となつて居るのであります。それでどうしても人事の權能を市長に取返へして戴き度い、斯
う云ふ希望を多年私共は抱いて居つたのであります。今回の助役の選任の問題等に就きましても
茲數代の市長さんの様に、豫め各黨派と渡りをつけて、政黨の押賣で助役を決めると云うふうな行
き方は止めて貰ひ度いと云ふことを、此の間私共議員團が市長に建言致しました中に、一項目とし
てつけ加へて置いたのであります。此の人事行政を刷新する、明朗化すると思ふことが東京市政
の信用を回復する第一の手段であらうと思ふのであります。これらの點に就きまして、いろ／＼事
情にお精しい方も多數居られることと思ひますが、如何にしたならば此の點を明朗化することが出
來るかと思ふことに就て御意見を伺ひ度い。斯う云ふ趣旨で茲に此の項目を掲げた次第であります
どうか忌憚ない皆さんの御意見の御陳述を願ひ度いと思ひます。

松波座長 どうぞ御遠慮なくドン／＼お願ひ致し度いと思ひます。先づ最初に最近まで東京市に職を奉ぜられ、其の點によく御精通なすつて居られる前東京市産業局長荒木孟さんの御意見を伺ひ度いと存じます。

荒木孟氏 一番始めに皮切を致しますことは恐縮の至りではありますが、折角の御指名でありますから、極く簡単に申し述べて見度いと思ひます。

唯今丸山氏よりお話がありました様に、最近市の人事行政は慥かに世間の批評を受けなければならぬ様に亂れて居ると思ひます。従つてどうしてもこれは正しく直さなければなりません。それは先づ市長、助役、局長と云ふやうな所謂市當局の幹部の人達がしつかりした考へを持つと云ふことが第一に必要なことであらうと思ひます。と申しますのは、市議員とか、或ひはボスとか、いろ／＼と要求をするではありませんが、それを容れる、容れないは市長の考へにあるのでありますから、結局しつかりした市長であれば、其の要求を斥けて容れないであります。其の意味でよいしつかりした市長さんが出ると云ふことが大事なことだと考へて居ります。よい市長が出れば助役もよくなるであります。又局長其他の幹部もよくなるであります。さうなれば市議員、或ひはボスの要求を斥ける——と申しましては語弊があるかも知れませんが、悪い要求で

あればドン／＼斥ける、さう云ふ措置に出づるでありますから、市政の明朗化、殊に人事行政の明朗化を圖ると云ふことは、結局市當局の首脳部は、所謂よいしつかりした人を据へると云ふことが一番大切なことであらうと思ひます。

松波座長 洵に御尤なことであらうと思ひます。次に近藤乾郎さんの御意見を伺ひ度いと思ひます。

近藤乾郎氏 私は此の春の市會選挙に立つたのでありますが、遂ひに失敗して仕舞つたと云ふ譯であります、今の市會の實狀に對する知識は全くないのであります。従つて此の人事と云ふことは市政刷新の根本問題であるとは考へて居りますが、其の具體的なことを申し上げることは出来ません。それで極く抽象的に申し上げますが、唯今はどうも規則とか、制度とか、割合に喧ましく言はれて居つて、さうして最も根本問題である人と云ふことが割合に輕視され、それが第二、第三になつて居るのではなからうか、さうして殊に實際家だとか、専門家だとか、割合に疎んぜられ、どつちかと云ふと机上の空論をすると云つた人が重んぜられる傾向がありはしないかと云ふことを私は常普段考へて居ります。それで市政なんかにも、もつと實際的人、さうして自分で仕事をしたことがあり、酷いも辛いも噛み分けた人を出して貰ひ度い、經歷とか、學歷とかは第二にして、

實際家で、然も自分で仕事をして居つて、さうしてどの部分は悪い、どの部分はよいかを痛感して居る實際家を出すやうにして戴き度いと云ふ希望を持つて居るのであります。

それから唯今市長等がしつかりして居れば漸次よくなると云ふお話がありました。私共は今のやうな有様では、市長等が餘程しつかりして居つても、他からの壓迫でなく、市長の思ふ通りに行くものではないと云ふことを聞いて居ります。併し荒木さんのお話を聞いて見ますと、市長さんさへしつかりして居れば仕事は思ふ通りに出来ることと云ふこととあります。それならば洵に結構なこととありますが、どうも私共は、矢張り市會議員、其の背後にあるボス、これらの排撃が出来なければ本當に正しい人事は出来ないじやないか、斯う云うふうに考へて來て居りますので、それらの排撃も是非やらなければならぬことと考へて居ります。

従つて私は、要するにもつと實際家の意見を尊重し、實際家を出すやうにする、それから悪いことを平氣とする市會議員や、其の背後にあるボス、これを排撃するやうにしなければならぬ、斯う云ふ考へを持つて居るのであります。甚だ漠然とした意見であります。感じて居りますことを一寸申上げた次第であります。

松波座長 次に富田喜作さんに願ひたいと思ひます。

富田喜作氏 若輩の私共が斯う云ふことを申し上げると云ふことは甚だ潛越であります。私共比較的若い者の考へて居るところを申し上げて見ますと、矢張り結論と致しまして、唯今近藤(乾郎)先生の言はれました様に、東京市の人事と云ふものは、唯單に市の理事者がしつかりして居ればよいと云ふことでは、實際問題としてどうかと云ふことを私共は考へて居ります。勿論、市の理事者である市長、助役、局長、これらの幹部の方が荒木(孟)さんの言はれる様に、非常にしつかりした考へを持つて居つて、何人にも掣肘を受けないと云ふ強い信念を持つて居られることも、これも必要だと思ひますけれども、従來の實際の成績に鑑みますと、如何に市の理事者がさう云ふ考へを持つてやつて居られましても、結局は市會議員、或ひは其の背後の勢力と云ふものに押され、其の要求を斥けては仕事もやつて行けず、のみならず、自分の地位も危ないと云ふ結果になりますので、どうしても市會議員、或ひは其の背後の勢力の要求通りにやらなければならぬと云ふ結果になつて來て居ります。従つて理事者によい人を求めると云ふことと、同時に、不當なる要求をするところの市會議員、其の他の勢力の方からも改めなければ、結局それは所謂百年河清を待つ結果に等しいであらうと私共は考へて居ります。又假りに市會議員は覺醒し、さう云ふ考へを持たぬ、さう云ふ行動は執らぬと云ふことにならましても、其の背後の勢力と云ふものが絶えず利權を中心とし

て、或は何かの目的を以て、人事に對して掣肘を加へると云ふやうな態度に出れば、其の當事者がしつかりして居つても、結局それに追隨せざるを得なくなり、矢張り結局は同じことに相成るのであります。従つて此の問題を解決致しますのは、どちらか一方的であつては不可ない、兩々相俟つてよくして行かなければならん性質のものでありますから、我々市民としては、此のポストと稱するところの不當なる勢力、或ひはそれらと結託を致して居るところの市會議員の覺醒を促すと同時に我々市民の父であるところの市長、或は其他の理事者に所謂其の人を得ると云ふことでなければ、到底明朗なるところの市政は實現出来ない、殊に明朗なるところの人事行政の確立は出来ないであらう。斯う考へて居るのでありますが、これは何人も議論のないところであらうと思ふのであります。而して市民の覺醒要望の聲に目覺め、市の理事者、或は市會議員とかゞ、本當に心を空ふして市政の爲に盡瘁すると云ふ氣持で人事に對しましたならば、所謂人の取引、殊に暗躍、明躍と云ふやうないかゞはしい結果は起きないであらう、斯う云ふふうに私共は考へて居るのであります。甚だ潛越で御座いましたけれども、東京市の人事に對して若い者の考へて居りますことを一言申し上げた次第であります。

松波座長 次に報知新聞の松本俊さんに御願ひ致し度いと思ひます。

松本俊氏 私は新聞記者でありまして、皆さんの御意見を伺ひ、それを市民に報道するの義務を持つて參上致したのでありますから、私個人として意見を述べることは差し控へ度いと思ひます。どうぞ宜しく御願ひ致します。

松波座長 それでは市川房枝さんに女性側としての御意見を伺ひ度いと存じます。

市川房枝氏 私共は市役所の中のことには餘りよく存じません。併し市役所でも課長級以下と申しますか、さう云ふ方々とは常に接觸して居りますが、さう云ふ方々の中にはなか／＼よい方がお居でになると思ふのであります。さうして東京市政のこと、或ひは市民のこと、或ひは斯うした問題は斯うした方がよいと云ふことを眞面目に考へられ、眞面目に言はれて居られる。私共はさう云ふことを伺つて喜んで居る譯であります。唯さう云ふ方々が相當の年限だけ市役所の中に居りますと、市役所の中の今までの空氣と言ひますか、或ひに現實と言ひますか、それに依つて折角眞面目にやらうとして考へて居つたことも放棄して仕舞ひ、市會議員なり、ポストなりに取入つて、身の榮達を願ふと云ふ傾きに段々なつて行くと思ふことを聞き、又私共も或る程度までそれを現實に見、其の點非常に遺憾に思つて居るのであります。相當上の方になりますと、それも人によりませうけれども、政黨屋或ひは市會議員、或ひはポストと云ふやうな者との關係が大分あるなと云ふことを私

共が接觸して居る間でも感ずることが時々ありまして、さう云ふ點から想像して、世間に言はれて居るやうなことも或る程度事實だらう、斯う云うふうに感じさせられる譯でありますけれども、若い吏員の人はさう云ふことはなく、眞面目に市政のことを考へて居るのでありますから、若い吏員の人達の考へを何とかしてもう少し市政の上に影すことが出来たならば、此の東京市政も相當よくなるんじゃないかと云ふことを考へさせられて居る譯であります。さうして又、先程お話がありました様に、さう云ふ悪い市會議員、ボスなんかの掣肘なんかを受けないで、市長、助役或は局長と云ふやうな所謂理事者の方々が、東京市の人事をもつと明朗と言ひますか、正確と言ひますか、正しくやつて戴けば非常に結構じゃないか、斯う云ふふうに考へて居ります。

第二、市會の肅正に關する問題

松波座長 もつと伺ひ度いことは澤山ありますが、時間に限りがありますので、此の問題はこれで打切り、第二の市會の肅正に關する問題に移ります。丸山君より説明を願ひます。

丸山鶴吉氏 此の問題も始終皆さんのお耳に達して居ること、思ふのでありますが、御承知の通り、東京市會は開き放しでありまして、別に會期と云ふものはありません。従つて會期を設定する

或ひは審議方法を改善する、さうして議事の進行が早く進むやうにすると云ふことも考慮を要すると思ふのでありますが、特に最も緊急を要することは時間勵行であります。其の議事の進行の様子に就ては、豫々伺つて居つたのでありますが、議席を持つて中に入つて見ますと、實にひどいのであります。全く時間の勵行と云ふことは行はれません。何時でも定刻に開會されると云ふことはなく、二時間や三時間は必ず遅れると云ふのが常例になつて居るのであります。これは全く時間の不經濟でありまして、是非何とかしなければならぬこと、痛感させられて居るのであります。

それからこれも以前から聞いて居つたのでありますが、議場の秩序保持と傍聽席の取締りと云ふことは全く出来て居りませす、聞くに耐へぬやうな彌次が傍聽席から飛ぶのであります。殊に或る種の黨派の人達は、自分の手下の人達を澤山傍聽席に入れて置いて、自分に反對の人が演説なり、説明をする場合に盛んに彌次を飛ばせると云ふ風習が非常に強いのであります。これらに就きましては、内務省行政監察の通牒にも指摘されて居るのであります。一段の考慮を拂つて、もう少し議事の進行が圓滿に、然も靜肅に行けるやうな市會に建直して行くことが大變に必要だと思ふのであります。従つて第二の問題として茲に掲げた次第であります。此の市會刷新に就て忌憚なき皆さんの御意見を伺ひ度いと思ふのであります。

松波座長 これは此の方面に御経験のある添田敬一郎さんにお願ひしたいと思います。

添田敬一郎氏 私は市會の狀況は未だ一遍も觀たことがないので全く知らないのですが、唯今丸山君のお話の通りであるとすれば實に亂雜なもので、それでは内務省から注意を受けると云ふことは無理もないことだらうと思ひます。故にこれは前の人事の問題同様、一日も早く解決しなければならぬ問題でありませうが、さうかと言つて直ぐに解決が出来るかと云ふと、さうは簡單に行かない、なか／＼種々の事情があつて難かしい問題であります。併しこれからの時代に於てはやらうとすればやれる問題であります。何故かと申しますと、現在の市會議員の連中は大分目醒めて來た、現に今度の市長選舉の如きも、いろ／＼の事情はあつたやうであります。幾分從來の弊害を改めんとした傾向があつたことを窺ふことが出来るのであります。これは偏へに革新同盟の方々の御盡力の賜物であらうと思ひます。僅か十人と云ふ少數でありますけれども、併し皆さんの堅い決心と御協力に依つて斯う云ふ結果になつて來たのでありますから、此の問題に就ても、今後皆さん達が堅い決心を以てお進みになられれば、相當の効果が擧がりやしないか、斯う云ふことだけしか唯今の處考へて居りませぬ。

序でに先きの問題に戻つて申し上げると云ふことは重複して恐れ入る次第であります。人事に

關する問題は何と言つても一番基であることは洵に其の通りであります。而して皆さんの仰言られたことは悉く御尤だと思ふのであります。それで私の考へて居りますことは、市の行政機關の中に監督機關と言ひますか、監察機關と言ひますか、一つの睨み場所を拵へると云ふことも、一つ考へて見るべき必要があらうと思ふのであります。今我々の耳にするところでは、市役所の中はまるで泥棒の塊りだと云ふやうなことも聞いて居りますけれども、先程の市川（房枝）さんのお話では、個人として會つて見れば相當立派な人もあると云ふことであります。それは事實だらうと思ひます。却つてよい人の方が多い、悪い人と云ふのは市會議員の一部、各局、或ひは各課に二人か、三人位しかないのでありませうが、其の人が害毒を流す、従つてよい人も其の害毒の爲に自然悪くなるのでありますから、何か市の行政機關の中に一つの監督機關を設け、さう云ふ害毒を流す人を見つけては反省を求め、又時に依つては制裁をも加へ、さう云ふ人のない様にする、さうして又さう云ふ監督機關は革新同盟の方々が監督をされる、さう云うふうにして行つたならば相當救はれやしないか、斯う云うふうに考へて居ります。

さうかと言つてそれを實行すると云ふ段になりますと、相當に困難なことでありませうが、假令十人と言ふ少數でありまして、革新同盟の方々が、本當に市政革新の爲に努力してやつて行くと

云ふ熱を以てやられましたなら出来ることでもありますから、どうかより一層御努力下さることを私からも願ひして置く次第であります。

松波座長 次に専修大學の三井勳さんにお願ひ致し度いと思ひます。

三井勳氏 私は非常に若輩でありまして、何等纏つた意見を申し上げることは出来ませんが、折角の御指名でありますから、極く簡単に常普段考へて居ることを申し述べて見度いと思ひます。

市政刷新は要するに市長の人物如何の問題だと荒木(孟)さんは仰せられました。洵に一應はさうでありませう。併し市政紊亂の後にはボスが存在すると云ふことを私共は否定出来ない、されば此の東京市政を淨化し、市會を肅正する爲には、どうしても此のボスの存在を根本から壊滅させなければならぬ、斯う云ふふうな氣持を私は持つて居ります。斯う申しますと、一體何處にボスが居るのか、一向居らぬではないかと反問される方もあるかも知れませんが、ボスが居ないと云ふ意見がありとすれば、それは強いて居ない様に解釋して居るのだと私は思ひます。ボスは慥かに存在して居る。而して其のボスと云ふものが此の市政、市會を紊亂に導いて居るのだ。斯うはつきり申すことが出来るだらうと思ひますが、従つて市政を刷新し、市會を肅正する爲には、此のボスの存在を徹底的に究明して、其の存在を明らかにし、其の罪狀を天下に公表し、次々にさうした人間を

少なく共東京市から放逐する、それ位の強硬なる覺悟を以てやらなければ到底其の目的を達することは出来ないだらうと思ひます。市長の選挙に於ては、幸ひに革新同盟の皆さん方のお蔭に依つてボスの暗躍を一時押へることが出来ましたが、ボスを絶滅さすことの問題は残されて居ります。故にこれからは市長及市會の腐敗墮落の基を醸成してゐるボスの存在を究明し、さうした人間を東京市から放逐すると云ふ決意を以て事を進めて行かなければならんじやないか、私はさう云ふ氣持を持つて居るのであります。而して今さう云ふ運動を起されたならば、少なく共革新同盟の一員である我々は斷乎として立つだけの決意を持つて居ることを茲に申し上げて置き度いと思ふのであります。これだけを申し上げまして、私の意見に代へる次第であります。失禮を致します。

松波座長 次に金子しげりさんにお願ひ致し度いと思ひます。

金子しげり氏 私共は何も存じませんので御座いますけれども、松波(仁一郎)先生の御命令で御座います故、極く簡単に申し上げて責を塞ぎ度いと存じます。

本當を申しますと、市會の中に女の人達が入つて居る譯でも御座いませんし、又何時も觀に行つて居ると云ふ譯でも御座いませんので、市會に對する私共の知識と云ふものは想像して得た方が多いので御座います。従つて具體的なことは申し上げられませんけれども、併し先刻お話に出ました

時間不履行と云ふやうな點では、私共も大變迷惑をすることが御座います。市會で決議されます問題は、その影響が臺所に及みますので、私達に直接の關係のある問題が随分御座います。現に先刻お立ちになりました荒木(孟)先生とは、市場の問題でチャン／＼バラ／＼をやつたことも御座いますが、市會で決議されます問題は、直接私達にも關係がありますので、時々傍聴に参ります。其の際非常に待たされる、それで非常に困ることがあるので御座いますが、時間勵行と云ふことにして戴けば非常に結構だと存じて居ります。

其他市政に就ていろ／＼希望する點も御座いますけれども、抽象的な議論ばかりで御座いますから差し控へさして戴き度いと存じます。唯此の二番目の問題に就ては、唯抽象的に肅正の必要ありと認め、大いに肅正され度い、而して私達もそれをお手傳ひするだけの覺悟は持つて居ると云ふことだけで御座いまして、何等具體的に申し上げられないことを大變に残念に存じます。

岸邊福雄氏 指名に依らずして申し上げると云ふことは甚だ恐縮でありますけれども、暫時お許しを願ひ度いと思ひます。

市會の亂雜と言ひますか、紊亂と言ひますか、さう云ふことが大分問題になつて居りますが、そのことに就て少しばかり知つて居るところを申し上げて見ますと、市會議員には妙な心理が御座い

ます。何かと申しますと委員長になり度いと云ふ心理でして、それは全く想像以外なのであります。何か問題が起きまして、委員會を拵へ、愈々委員長の選定と云ふことになりまして、俺もなり度い／＼と云ふことで争ふ、それで四時に開くの、五時、六時になつても、或ひは八時、九時になつても争つて居る、さうして九時頃になりますと、一寸集めて直ぐ時間延長と云ふことにし、直ぐ引込んで又争ふと云ふ有様であります。さう云ふことを四年間私も目撃して居つたのであります。其の時私は、上等の市會議員になるのには、これは時間の觀念を棄てなければならぬのだなと思つたことがあります。私共は時間の觀念を棄てることが出来ませんでしたので、到々よい市會議員にはなれなかつたのであります。其んな様で皆が委員長になりたがる。それで當時無所屬の人達が十五、六人で俱樂部を作つて居つた、一人一黨と云ふ連中で御座いますから、一堂に會するといろ／＼な意見が出、非常に喧ましいので御座いますが、役員は總て抽籤で決めると云ふ規約を作つたのであります。抽籤で何でも決める、參事會員であらうが、學務委員であらうが、抽籤で決めるのでありますから、即座に決つて仕舞ふ。ところが或る派の方はさうは参りません。俺もなり度い／＼と方々から手を出す、どれに決めてよいか判らない、それで親方の處に相談に行く、指令を貰ひに行く、さうして今度の委員長は何某を就かしむるべしと云ふ指令でやつと納まると云ふ有様

であります、それを始めにやればよいのでありますけれども、長いことゴタ／＼した後にさう云ふことになるので御座いますからして、其の間時間を無用に消費して仕舞ふ。さうしたことからして時間不勵行となるのでありますが、もつと委員とか、委員長とかに執着しない議員さんを出すやうにしなければ、此の時間不勵行と云ふ問題を解決することはなかく／＼難かしいことだらうと思ひます。

もう一つの議場の秩序の紊亂、傍聴席のゴタ／＼、これも實にひどいものでありまして、私は始めての時に斯んな處に金を掛けて何故出て來たのだらうと泣いたことがあります、頭の上の傍聴席ではドタンバタンをする、亂暴な彌次を飛ばす——尤も岡田（和一郎）先生にだけは敬意を拂ひました。「岡田先生のメスで以て市會議員を解剖してやつて下さい」と言つた一言を覚えて居りますが、岡田先生にだけは先生と呼びます。併し後の人は木葉微塵にやられます。其の言ふことが實にひどい、それで少しばかり市役所の守衛の人も居りました取締つて居りますが、其の人の言ふことなんか一向聞かない、だからそんな人達がどう斯う言つたところで納まりません。それで仕方がなく、警察の人を頼んで取締つたことがある、傍聴席の中に警官が混つて取締つて居ると云ふ有様は、如何にも市會らしくありませんが、併しさうでもして亂暴者を取締らなければ議事の進行は出

來ないと云ふ有様でして、仕舞ひには何人かの人が警官に引つ張られて行くと云ふ有様であります其の有様たるや實に情けないもので、どうして東京市會は斯んなに騒いだり、競合ひをしたりするのか、つく／＼不思議にも考へられたことがあります、昔からさうであります。唯今でも伺ひますとそれが止まないと云ふことである、それでどうしてあの亂暴な傍聴の人達を取締るか、と云ふ問題になつて参りますが、これは譯が御座いけません。警官を百人も入れて置く、さうすると傍聴人と同じ位になりますから、隣と隣に取締の警官が居つては、如何に亂暴な人と雖も騒ぐ譯には行かぬでせう。百人が多いと云ふなら五十人、五十人が多いと云ふなら三十人でも宜しい、三十人でも多いと云ふなら十人でも宜しい、それですつかり静まります。それが今の様に一人も居ないと云ふことでは下の方から静かにしなさいとか、黙つて下さいとか言つたところで到底整理の出来るものではありません。だからあゝ云ふ亂暴者を取締りますのには、所謂暴には暴を以て報ゆべしの言葉の通り、力を以て取締ると云ふより他に途がないのでありますから、さう云ふ方法をも考究すべき必要があらうと思ひます。殊に丸山先生は昔サーベルをお下げになつた方で、さう云ふことはよく御存知のことでありませうから、どうぞ宜しく願ひ致し度いと思ひます。

第三、市會事務局改善の問題

松波座長 これ第二の問題は打切りまして、第三の市會事務局改善の問題に移ります。丸山君より説明を願ひます。

丸山鶴吉氏 此の問題も豫て伺つて居つたのでありますが、矢張り市會に這入つて見て驚いたのであります。御承知の通り、事務局が馬鹿に膨大な組織になつて居る、然も此の事務局は増々擴大され、愈々膨大になつて行く傾向に、年々傾いて居るのであります。さうして私共は成るべく事務局を煩はさない様にと心掛けて居りますが、他の人達のはあれもこれも勤め、公務外の例へば市會各派の用務、又は議員個人の私事をも辨すると云ふ有様が段々濃厚になりつゝあるのであります。さう云ふ結果は其點から種々なる弊害を生じ來り、事務局が政黨、政派の渦中に這入つて參ると云ふ弊害も起きて參るのでありますが、現に市長選舉に當りまして、事務局長がいろ／＼と暗躍をして問題になつたり、其後の選舉に於きまして、事務局の態度に就て批評を受けて居ることが多いのであります。従つて内務省の行政監察の通牒でも、矢張り事務局が膨大に過ぎ、公務以外の私事をも辨して居ると云ふことは困ると云ふことを指摘されて居るのでありますが、私共實際の問題に

當つて見ますと、如何にもさう云ふ傾向を認められるのであります。さうして斯う云ふ問題は小さいことの様ではありませんけれども、其の及す影響は可成り重大で、我々市民としては可成りの關心を要する點ではなからうか、斯う思はれるのであります。いろ／＼内容等に就て御存知の方もお出でになるだらうと思ひ、皆さんが平素此の問題に就てお考へになつて居られるところの御意見を伺つて置けば大變幸せだと思ひまして、第三の項目としてこれを掲げたやうな次第であります。

松波座長 斯う云ふ方面に關係せられました藤原俊雄さんに先づ最初にお願ひ致し度いと思ひます。

藤原俊雄氏 私が市會に關係して居りました時分は、事務局と云ふものは今日の五分の一もないと云ふ小さな組織になつて居つたのであります。それが唯今丸山君のお話の通り、非常に膨大なものになつて來て居るのであります。其の當時と比べて見ますと、議員も倍になつて居りますし、又東京市自身が世界で二、三番目の大都會になつたのでありますから、市民の權利義務を代用致しますところの市會も大きくなり、従つて事務局の膨脹と云ふものも或る程度已むを得ないことであらうと思ひます。併し議員の私事までも辨すると云ふことは、それは絶対に不可なのであります。さう云ふ方面は宜しく改善しなければならぬことは今更言ふまでもありません。元來私は、餘り事

務局に顔を出したことがありませんので、其の様子はよく存じませんが、恐らく丸山君の言はれたやうなこともあり、議員の中にはそれを歓迎して居ると云ふ者もあるだらうと思ひます。さうした者等が結託をして何か悪いことでもし、事務局其のものを腐敗墮落に導くことになりやしないか、さう云ふ疑念を抱かれることは御尤もでありまして、さう云ふ點は極力排撃する様にしなければなりません、併しさう餘り大きな問題ではないと思ひます。殊に私共も市會議員待遇者でありまして、矢張り市會の衝に當つて居りますが、これは半分は私事もやつて貰つて居ると云ふやうな有様であります。それで其の方までも止めて仕舞ふと云ふことになれば私共の方で困ることになりますから、若し非常な改正を行ふとしましても、待遇者の方は此の儘にして置いて戴き度いと思ひます。後は別に申し上げるやうなことも御座いません。

松波座長 今度は區會議員の大森一雄さんにお願ひ致し度いと思ひます。

大森一雄氏 私は市會の事務局のことに對しては、殆んど認識を持つて居りません。それで市會の事務局のことに就て申し上げると云ふことは出来ませんので、私が現在當つて居ります杉並區の區會のことを一寸申し上げて見度いと思ひます。

區會議員になる前は、區民の爲に本當に眞面目にやつて行かうと云ふ考へで居りますが、いざ區會議員になつて見ますと、もう今度は、課長であらうと理事者であらうと、我々の思ふ通りになるのだ、従つて此の際、思ひ切つたことをやつて置かなければ損だと云ふやうな考へからして、用もないのに事務局に何時でも行つて居る。さうして自分の用事、或ひは人から頼れた用事を各理事者を態々事務局に呼びつけて命ずる。理事者もこれに對して諾々として應ずると云ふ有様でしたのでそれを見ました私は、これは大變なことである。此の儘放つて置いたのでは、これはいろ／＼な弊害を生ずるから、何とかしなければならぬと云ふことを考へ、區會議員が區會事務局で呼んでも理事者はやつて來ない様にと云ふ方法を採らしたのでありますけれども、又隠れてそれをやります。區會議員の力は強い、だからこれに反抗すればどうなるか判らないと云ふ心が理事者達の頭にあるものでありますから、如何にさう云ふ規則を拵へても一向効目がありません。従つてこれは議員の方の自覺に俟たなければ解決出來ない問題だと云ふことをつく／＼感じたのであります。市會に於ても同様だらうと思ひます。市會議員が本當に自覺め、自覺して、さうして市會事務局と云ふものを亂用しない、さう云ふことにならなければ事務局本來の職責を全ふすると云ふことはなか／＼難かしいだらうと思ひますが、さう云ふ意味に於て、此の事務局の問題を考へるに當りましては、先ず第一に市會議員の自覺を促がす方法如何、これを考へ度いと思ふのであります。

第四、不當調査費の問題

松波座長 次に不當調査費の問題に移ります。丸山君より説明を願ひます。

丸山鶴吉氏 此の問題もしばしば皆さんのお耳に達して居る問題で御座いますが、前々御承知の通り、市會議員の實費辨償、つまり、歳費であります。これは千二百圓であつたのであります。ところが其の當時、衆議院、貴族院共三千圓であり、愈々大東京になつて、市會議員の任務も非常に擴大され、非常に忙がしくなつたのであるから、一つ三千圓位にしなければならぬと云ふ運動が市會の中に起つて参つたのであります。さうして結局實費辨償即ち歳費は一千圓値上げになりました。二千二百圓になつたのであります。それが何々調査の委員を囑託すると云ふことで、百四十四名の議員全部に手當を給して居るのであります。故にこれは甚だ不當であると思ひまして、當時我が革新同盟に於きましては、これらに就て反省を促がす各種の運動を執つたのであります。にも拘らず依然として繼續され、歳費は二千二百圓も取つて居る。其他産業視察費として三百圓、都制研究費として三百圓、計六百圓の手當を全議員に對して給付して居るのであります。前者は兎も角と

して、後者は全く不當なる支出でありまして、昭和十年市區行政監察に關する監督官廳通達の事項中にも、これを甚だしい不當として指摘されて居るのであります。私共は此の不當調査費撤廢と云ふことを前からも叫び、又今度の選挙の際にも一つの項目として掲げました關係上、既に革新同盟と致しましては、此の實費辨償以外の他の名目による調査費は一切お返しして、豫算を更正して、今最も必要なりと思はれる費目、例へば現に國を擧げて對策に腐心しつゝある結核豫防事業の經費に轉用して貰ひ度いと云ふ豫算更正建議案を提出致して居るのであります。議員提出の議案は議案審査委員會と云ふものがありまして、其の委員會に掛かるのであります。一昨日其の委員會が開かれまして、私も其の席に列し、説明これ努めたのであります。未だ委員會を通過するに至らず、従つて本會議には提出されて居らぬのであります。或ひはこれは多數の爲に賛成を得ないで否決をされることになるかも知れませんが、此の問題はどうしても改革をして行かなければならぬと思ふのであります。今後此の不當調査費撤廢と云ふことに邁進して行く覺悟であります。其の見地から斯う云ふ問題に就きまして、特に何か御意見でも御座いましたら、それを伺つて置くことが出来たならば非常に幸せだと思ひまして、もう大體知れ亘つた問題ではありますけれども、第四の項目に掲げて置いた次第であります。

中田敬義氏 其の二千二百圓と云ふ市會議員の歳費は實費辨償と云ふことになつて居るのですか
丸山鶴吉氏 市會議員の歳費は實費辨償と云ふことになつて居ります。

中田敬義氏 それであれば餘計怪しからぬと思ひます。千二百圓を一度に千圓も値上げをして二千二百圓にする。さうして實費辨償でありますから、これには所得税は掛かりません。二千二百圓も取つて居るのに所得税は一文も拂はない、更にそれどころではなく、何もしないで唯いろ／＼な名目に於て八百圓も調査費を取つて居ると云ふことは、これ程亂暴な話はないと思ひます。出す方も出す方でありませんが、取る方も取る方でありますから、斯う云ふことは徹底的に究明して、一日も早く撤廢させる様に皆さんの御努力を願ひ度いと思ひます。

松波座長 八十歳以上の老人が斯くの如く憤慨されて居ります。次に矢張り八十に垂々とした高齢を以て、市會の淨化の爲に非常に御盡力になつて居られる土方先生にお願ひしたいと思ひます。

土方寧氏 唯今不當調査費のことが問題になつて居りますが、これは取る方ではよいこととせうが、出す方としては随分迷惑なことである。一人六百圓、或ひは八百圓としますと、百人で六萬圓から八萬圓、百五十人で其の一倍半になります。尤も何億と云ふ東京市の大きな豫算から見ますと其の額は小さいのでありますけれども、赤字に赤字を出して居る我が東京市の財政の現状から考へ

ますと、決して看過さるべき額ではない、第一に二千二百圓と云ふ歳費を取つて居る上に、何もしないで唯名目だけでそれだけの金を取ると云ふ事は随分ポロイ儲け口であります。それに市會は衆議院と違つて解散と云ふものはない、一度なれば四年間三千圓近くの金を一年に貰ひ、市會議員様で威張つて居れるのでありますから、誰れもなり度い、無理してでもなり度いと云ふことで、選挙の時には随分無理なことをする。それで選挙違反などに引つ掛かるのであります。そも／＼市會議員にならうとする動機が所謂不純である。本當に市の爲に盡してやらうと云ふやうな人は非常に少ない。その殆んどは澤山な歳費が貰へるから、或ひは何か利権を探せるからと云ふやうなことになる、さうして市會に出て参りますと、結核豫防費だとか、いろ／＼な缺くべからざる方の豫算には大削減を加へ、反對に自分の方に少しでも利益があると云ふ方には賛成／＼で、一文でも餘計取らうとして暗躍をする、斯う云ふ人達が集つて居るのでありますから、普通の方法を以てしては市會の改善と云ふものは絶望だらうと思ひます。

更に二千二百萬圓の歳費、六百圓の手當で眞面目にやつて居ればまア／＼よいのでありますけれども、非常に慾があると見えていろ／＼な利権漁りをする。何か儲け口はないかと覘つて居る。それで市役所の中に遣入り込んで、吏員を嚇かしたり、吏員の任免にまで指圖をしたりする、さうし

て儲け口はないか／＼と観つて居る。それで時々何々疑獄と云ふやうなことが起きるのでありますが、洵に情ない有様であります。殊に三年の後には紀元二千六百年の祝典式が擧げられる、萬國博覽會はある、オリムピックはある。其他いろ／＼の會合があり、金も餘計使ふ、それで此の時を置いては、と云ふことで儲け口を虎視眈々として観つて居ります。だから其の儘で行つたのでは、何か事が起きるに相違ない、さうして全世界に對して恥をかくことになるだらうと私の考へでは思はれます。故に此の際根本的に改革し、新しい組織にし、此の大祝典の時には少なく共ボロを出さない様にする、さうして世界に對して恥をかくぬともよい大東京市にして戴き度い。斯う云ふ考へは持つて居ります。

第五、企畫局の問題

松波座長 此の問題に就ては私共も何時も不愉快に感じて居ります。額はさう大した事はありませんけれども、遣り方が餘りにもするい、それでもつと徹底的に検討を加へ度いと思ひますが、時間が餘りありませんので、遺憾ながら此の問題はこれで打切り、第五の企畫局の問題に移り度いと思ひます。丸山君より説明を願ひます。

丸山鶴吉氏 これは政府の政策に似寄つて居ると云ふお感じをお持ちになられると思ひますが、私共の考へて居りますのは必らずしも同様の名稱にしなければならんと云ふ考へでは御座いませんで、要するに従來の市政の運用を見ますと、電気、水道、瓦斯、土木、衛生、交通其他各般の事業は、どれも一部局の小天地に踞踏して居りまして、其の間に何等の連絡がなく、統制が取れて居らぬ。所謂全般的見地を没却して居る觀があるのであります。此の際帝都將來の萬般の施設經營と云ふことを考へて見ますと、以上の諸事業は其の實質に於ては有機的不可分關係にあるのでありますから、どうしても其の施設經營と云ふものは総合的、有機的に調査、立案をすべき必要があると考へるのであります。従つて何か企畫局の如き機關を設け、総合的に諸事業を進めて行くやうにしたらどうか、これは極めて時宜にも適したことであり、又所謂赤字財政の建直し、電気事業の更生、交通統制の實現等の如きも、斯くの如くして初めて根本的に解決し得るであらうと思はれるからと云ふ見地から致しまして、此の問題を取り上げた譯でありますが、尙企畫局の組織及び權限、構成其他に就ては特に考慮を要すると思ふのであります。従つてこれらをどうしたらよいかと云ふことに就ての皆さんの御意見を伺へれば非常に資するところが大であらう。斯う云ふ見地から致しまして此の問題を第五に掲げた次第であります。

松波座長 此の問題は斯う云ふ問題に就て御経験を有せられる元東京市助役菊池慎三さんにお願ひ致し度いと思ひます。

菊池慎三氏 企畫局設置の問題であります。これはどうしても必要だらうと思ひます。名稱は必らずしも企畫局のみに限らなければならぬと云ふことはない。名稱は何んでも結構であります。電氣、水道、土木、衛生、交通其の他の事業の施設經營を総合的に調査、立案する機關が是非必要だらうと思ひます。殊に大東京になりました、市の經營する事業の範圍と云ふものも非常に廣くたつたのでありますから、どうしてもさう云ふ機關を作る必要があらうと思ひます。が、先づそれを作りますのには市會の議決を経なければなりません。それがうまく行くかどうか、これが問題になつて参ります。茲で話の内容が前の項に少し廻りますが、東京市の市會は少し偉ら過ぎやしないかと私は普段考へて居ります。中央の衆議院でも、貴族院でも、此の頃は洵にお氣の毒な程勢が揚がらぬ有様であります。東京市會だけは一向恐れるものがない、だから市會の勢いと云ふものは當るべからざるものがありますが、如何に一方の方で市政革新をやらうと致しましても、此の偉ら過ぎる力を何等かの方法で押へると云ふことにしなければ總ての問題は解決されないじやないか、殊に人事に關する問題なんかはさうでありまして、市會は吏員の任免と云ふことに對して大なる勢

力を持つて居る、それで此の市會の力と云ふものを何とかしなければ人事行政の明朗化と云ふものは出来るものではない。そこで市會の力と云ふものを何等かの方法で落す必要があらうと思ふのであります。一體執行機關が議決機關に壓倒される形になると云ふのは普通であります。執行機關が議決機關を押へる途に解散と云ふことがある。東京市會でも執行機關に於て解散申請をすれば内務大臣は市會に對して解散を命ずると云ふことになつて居りますが、未だ其の傳家の寶刀と云ふものは抜かれたことがない。さうしたことからして、市會と云ふものは何も恐れるものはないのだ、どんなことをしても制裁を加へられると云ふ心配はないのだと云ふ心が起きて、さうしたことも市會が横暴になつたと云ふことの一因をなして居ると思ひますが、解散其他何等かの方法に於て、市會の勢力と云ふものを今少し落すことが出来ましたら、東京市政もつと圓滑に行くのではなからうか、斯う云ふ方に考へて居ります。

それで市會の議決を得たものとして、今後は其の企畫局の組織、權限等は如何にすべきかと云ふ問題になつて参りますが、置くからには相當強力なる勢力を持つ機關にしなければならぬ、さうすれば他との摩擦が起りやしないかと云ふ心配もありませうが、摩擦の起らないやうな機關を置いたところで何等役に立たない。各局、各部との摩擦なんかに恐れず、向ふを押へてドン／＼仕事をやれ

ると云ふ位の強力な機關でなければ何にも役には立たないのでして、さうでなければ止めた方がよいだらうと思ひます。さうして其の局長には實力もあり、信用もあり、又睨みの利く人を据へると云ふことも考へなければならぬと考へて居ります。

松波座長 次には矢張り市に職を奉ぜられて居りました元東京市参事山田忠正さんにお願ひ致しますと思ひます。

山田忠正氏 私は元東京市の都市計畫部の方に厄介になつて居りました關係上、此の問題に就ては特に深い關心を持つて居るのであります。それで私が此の問題に對して數年間考へて居りました一つの案があります。今までは遠慮して發表しませんでした。今日は特にそれを發表して見たいと存じます。

御承知の通り日比谷に東京市政調査會と云ふ會がありますが、これが矢張り企畫局と關聯した意味に於て、此の市政調査會と云ふものを東京市に移管する、さうして特別會計から經費は支出すると云ふ具合にして、相當偉い人を局長にする。さうして相當に強大な機關であり、相當な壓力を持つた機關を拵へてはどうか、斯う云ふ考へを私は前から持つて居るのであります。強力なる機關を作つて仕事をドン／＼やれば必ず各局、各課との間に摩擦が出来るであらませう。併し又、唯今菊池

さんも言はれました様に、摩擦が起きる位でなければ設けた價值がないことは勿論であります。それで是非強力な機關にしなければなりません。此の強力なる企畫局の設立の必要と云ふことは私も充分よく認めて居ります。例へば現在の市行政に於ては、無用の長物的なことをやつて居る。具體的な例を挙げますと、東京市には都市計畫課と云ふものがあり、其が市内全體の計畫を樹てる。ところが公園に就ては公園課、電氣は電氣局、土木は土木局に權限がありますので、それらは自分の管轄内の事を勝手にやつて居る。さうかと言つて都市計畫課の方で、それは是非斯うやつて貰ひ度いと言つたところで向ふに其の權限があるのでありますから、どうしても向ふの言ふことには敵はない、仕方がないので都市計畫課の方では地圖を眺めたり、新しい地圖を拵へたりして鬱憤を晴らして居ると云ふやうな傾向にあるのであります。さう云ふバラ／＼にやつて居るのでありますから、従つて能率の擧げぬことも話の外であります。だからどうしても能率を擧げるやうな方法を採らなければなりません。それには統制的でなければならぬ。統制的にやるには矢張り斯う云ふ機關が必要である。それには相當強力なものでなければならぬ。時には市長、助役なんかとも闘ひ、又市會議員やボス等とも闘ふ、それ位の力のある機關でなければならぬ、さうでなければ本當に能率を擧げることは出来ないじやないかと思ひます。現在の東京市政に於て一番大切なことは、

此の能率を挙げると云ふことであります。御承知の通り市の事務と云ふものは非常に濫帯し、市のやつて居る仕事の成績と云ふものは餘り芳しくない。其の原因にはいろいろありませうけれども、先程の御説明にもありました様に、各事業が各々其の一部局の小天地に跼踏してバラ／＼にやつて居り、其の間に連絡統制と云ふものがないと云ふことに最大原因があると思ふのであります。故に一日も早くさうした総合統制機關を拵へ、それに依つて相互の連絡をよくして行く、或ひは統制を加へるべきものには統制を加へる、さうして市政の運用を圓滑に進めて行くと云うふうにしなれば赤字財政建直しをすることは難かしいでありませう。又電氣事業の更生を圖ると云ふことも難かしいでありませう。殊に急にどうしてもやらなければならんことは交通の統制であります。これは後に此の問題が出て参りますが、御承知の通り三年後には萬國博覽會、或ひはオリムピックと云ふやうな所謂國際的の催しが幾つも控へて居ります。其の時までにはどうしても交通統制の問題を解決しなければならぬ。若しそれが出来なかつたら、それこそ笑ひ物になるだらうと思ひます。

その意味に於て、此の企畫局を作ると云ふことは焦眉の急務であり、机上の空論をやつて居るべき時ではない、早速其の實行に取掛らなければならん時なのであります。さう云ふ見地から致しまして、もう少し眞剣な態度で企畫局の問題に就て調査研究をやつて戴き度いと思ひます。さう

して手つ取り早い方法としては、あの市政調査會と云ふものを東京市に移管され、これを擴大強化して企畫局にする、これは非常に有効な方法だらうと思ひます。勿論、あの儘にして置いても相當に價值のあることは申すまでもありませんけれども、これを外部の方から觀ますと、あの儘にして置くよりは東京市に移管し、さうしてもつと大きな經費を以てやる、さうして助役位の局長を据へ人員も相當の數にしてやつたならば、相當強力なよい機關が出来やしないか——市政調査會の方々にして見れば、長年育て、來たものを東京市の方に移管すると云ふことは洵に惜しいでありませうけれども、どうか大乗的見地からして東京市に移管する様にして戴き度い、私はこれを提案致し度いと思ふのであります。

松波座長 幸ひ市政調査會の新名直和さんがお見えになつて居られますから、新名さんより其の提案に對してどうお考へになつて居られるかと云ふことを伺ひ度いと思ひます。

新名直和氏 唯今の御提案に對して一言申し上げさして戴き度いと思ひます。

企畫局の必要は無論これは大いにあると考へます。東京市行政の如く、其の及す範圍が廣く、又行政機構も細かく分れて居るところに於ては、其の相互の連絡統制を圖ると云ふ見地からして企畫局の如きは是非共必要である。故にこれを一日も早く設置し、其の効果を擧げる様にしなればな

らぬと云ふことは私達も充分其の必要を認める次第であります。従つてそれには何等反對をしないと言ふよりは寧ろ其の成功を祈る者であります。唯今の山田氏の市政調査會の機構を東京市に移管すべしと云ふ御議論に對しては、遺憾ながら反對の意を表せざるを得ないのであります。申すまでもなく我が市政調査會は、全く獨立獨歩の財團法人組織の會でありまして、其の信ずるところによつて調査研究をし、それを發表して居ります。従つて東京市から金を貰つてやつて居る譯ではなく、従つて東京市の機嫌を取らなければならぬと云ふやうな必要もない。全く公平なる立場で調査研究を致しまして、悪いことは悪いと指摘し、よいことはよいと指摘して居ります。それで東京市廳の人達は、市政調査會の意見、或ひは建議案を兎角毛嫌ひ、市政調査會の存在を餘りよく思つて居りませんが、調査會と致しましてはどこまでも是は是、非は非とはつきり指摘し、其の非なるところの改善を促がして行く覺悟であります。即ち獨立機關として自分の信ずるところに向つて進んで行く覺悟であります。斯くの如く公平な立場で調査研究するには、どうしても市政調査會の如く獨立機關の組織でなければ出来ないことと思ひます。それ若しこれが東京市の機關の一つになつたと云ふことでありますれば、市長の意向に逆はぬ、或ひは市會の御機嫌を損しないやうな建議をする、又さう云ふことを調査して報告すると云ふことになるに違ひない、假令どう云ふ人が局長

になつたと致しましても、自然、上官に逆はぬやうなことをやるやうになるでせう。其點は人間の弱點であります。若しさう云ふことばかりをやつて居るとしたら、何十萬、何百萬の金を掛けてやつたところで、其の効果と云ふものは舉りません。従つて市政調査會を東京市の機關の中に入れると云ふことは、現在の市政調査會を殺して仕舞ふと云ふ結果になるのであります。尤も外部の方から観ますと、市政調査會は何もやつて居らぬ様に見えるでせう。過去十數年間、大した業績を擧げ得なかつたことは、内部の者として甚だ汗顔の至りに堪へぬのであります。併し御承知の通り、調査研究と云ふものはなか／＼時間も掛かり、又經費も掛かるものであります。少ない經費と人員とを以てやるのでありますから、なか／＼思ふ通りには参りません、或は單に自分達は斯う云ふ仕事をやつたのだ、と云ふ様に、其の業績が澤山ある様に見せやうと云ふことには其の遣り方もありません。然し乍ら、市政調査會は、東京百年の大計を樹立すると云ふ高遠なる理想の下に現實の問題を取上げて調査研究をして行く。さう云ふ立場からして此の會の始め以來やつて居りますので、表に表はれた業績と云ふものは澤山はありませんが、可成りやつて來て居ると思ひます。殊に内部の者のみでやるばかりでなく、事ある時には外部の有力なる方をも總動員致しまして、數日會合を重ね、其の成案を得て發表すると云ふことをやつて來て居りますが、今後に於ても内部の者のみの

獨斷に依り、其の意見を發表すると云ふやうなことは致さん考へであります。矢張り市當局、経験者、實務研究家、又新聞雜誌其他の言論機關、評論家の意見と云ふものを充分綜合致しまして、さうして其の衆智衆能の成案に基づいて意見を作成して發表する様にして行き度い。之が内部の者の希望であります。以上の如き組織に於て始めて其の調査研究が役立つのではないか、さうしてこれが市の所謂隸屬機關になつたのでは、形は残つても、其の中味はなくなつて仕舞ふ、所謂機能を充分に發揮し得なくなると云ふ點に於て市政調査會を東京市に移管すべしと云ふ説に反對を唱へる次第であります。

第六、電氣事業更生の問題

第七、交通統制の問題

松波座長 次は第六の電氣事業更生の問題であります。電氣事業と交通との問題は非常に關聯して居りますから、第六、電氣事業更生の問題、第七交通統制の問題、これを合せて議題に致します。丸山君より説明を願ひます。

丸山鶴吉氏 此の二つの問題は東京市に取りましては非常に重要な問題でありまして、豫て皆さん方も非常に御心配下さつて居られることと思ひます。御承知の通り、最近電車は非常な赤字を出して居る。此の原因に就てはいろ／＼と數へることが出来ませうが、先づ主なる原因としましては省線電車は概して市内目抜の一等地を占めて居るのに反し、市電の方は二等地、三等地に敷設されて居る事、又省線電車、地下鐵、乗合自動車等は區間制であるのに對し、市電の方は三十年來均一制の儘である事、さうした點にも原因して居ります故、さういふ方面のことも考へなければならぬと思ふのであります。又市營バスの方に致しましても、會社バスと併行して居る個所が相當多く、然も市バスは會社バスに比べて營業が常に悪いのであります。従つてこれらの原因及び其の對策如何、或ひは其他電燈、電力の方面も尙研究改善の必要があると思はれるのであります。

それから交通統制の問題でありますが、これは先程山田(忠正)さんからお話がありました通り、電氣事業及び企畫局との問題とも相關聯する問題であります。御承知の通り、我が東京に於ては省線、市電、市バス、青バス、地下鐵、郊外電車等、いろ／＼の交通機關が各々支離滅裂の状態で經營されて居りまして、其の間の連絡と云ふものは殆んどないと思ふ有様であります。これは非常に不利なことであり、殊に萬國博覽會、オリムピツク等を控へて居るのでありますから、どうし

でもこれを有機的に統制されなければならぬと思ふのでありますが、前の問題と合はせましてこれに對する皆さんの御意見を伺ひ度いと思ふのであります。

松波座長 岡野昇さんの御意見を伺ひ度いと存じます。

岡野昇氏 二つの問題を一緒に議題に供されましたが、第六、第七に分け、先づ電氣事業の更生の問題から申し上げます。

私は東京市の電氣事業更生審議會の委員をして居ります關係上、いろ／＼と澤山に材料の提供を受けまして、種々研究を致して居ります。其の結果に依りますと、此の路面電車なるものは世間で言ふて居る程悲觀の状態にあるとは思へない。世間では毎年々々赤字ばかりを出して居るから外して仕舞つたらどうだ、と云ふ意見もあるやうであります。決してさう云ふべきものではありません。先づ路面電車がどの位働いて居るかと言ひますと、今日では全交通量の約二割五分の人間を運んで居ります。即ち一年に二億八千三百萬人の人間を運んで居りまして、東京市及び郊外の交通機關中第二位を占めて居ります。さうして収入の状態はと申しますと、これは十位にあり、約一年に二千三百萬圓の収入があるのであります。資本金が約二億圓でありますから、約一割の収入に當つて居ります。さうしてこれから経費を除きますと、其の利益は三分二厘になります。それから路面

電車の各系統に就きまして、損ばかりして居て外すやうな處はないかと調べて見ました處、さう云ふ線は一つもない、つまり、経費をカバーし得ない状態にある線は一つもなかつたのであります。何故これが苦しい立場にあるか、と申しますと、皆さんも御承知の通り、一時非常に營業成績が好かつた時があつた。即ち自動車はなし、バスもなし、電車のみが唯一の交通機關でありましたから、車の中に這入り切れず、外に鈴鳴りにぶら下がつて行くと云ふ状態でありまして、終ひには此の混雑をカバーする爲に委員會さへ設けられた。私も其の委員になりましたが、其の當時の利益と云ふものは非常なものであつたのであります。兎に角車の中は一杯で何時も乗れない、仕方がないので外にぶら下がつて行くと云ふ有様でして、乗客は非常な苦痛を感じましたけれども、市電としては非常な利益がありました。それで非常に利益があると云ふので、路面を擴張する、道路を擴張すると言つては其の金を市電の方から出させる、又路面を鋪装すると言つては出させる云ふ譯で、市電の方は非常に多くの経費を出したのであります。それらが負債となつて今日まで残つて居るのであります。其の負債の爲に一年に千八百萬圓もの利子を拂はなければならぬと云ふ有様で、三分二厘の純益を擧げて居るけれども、まだ／＼足りない、結局其の負債の利子を拂はなければならぬ爲め、一年に一千萬圓ばかりの欠損をして居ると云ふ譯であります。其のやうな譯でありますか

ら、市電其のものが輸送機關として更生し得るや否や、と云ふことに就ては、決して更生し得ないと云ふ理窟はない、其の負債さへ何とかして整理すれば立派に更生し得るのだ。だから此の負債を何とかして整理して戴き度い、斯う云ふ考へを持つて居りますが、さうすれば必ず此の市電は更生されるものと思ひます。然しながら、それではまだ完全の状態ではありません。次に交通統制と云ふことをしなければならぬ。此の交通統制が出来れば、それによつて確實に更生し得ると云ふ保證が出来ると考へます。此の交通統制も今までに商工會議所であるとか、又内務省であるとか、方々で研究をされて居りますけれども、何れも根本的のことばかり考へて居り、言ふべくしてなかなか一朝一夕に行れるやうなものではありません。それで五年、六年経つても一向目鼻がつかない状態にあります、斯う云ふことは先づ差當りの問題からやり、さうして全體の交通統制と云ふことに近づいて行く必要があると考へるのであります。と云ふのは青バスの問題であります。一番東京市電が苦しんで居りますのはバスと圓タクの爲にでありまして、今日調べて見ますと、バスは四割餘、圓タクは二割餘と云ふ利益を市電から奪つて居る。だからバスの影響と云ふものは甚だ多いのであります。青バスが出来た時にそれを併合して置けば何んでもなかつたのであります、それを潰さうとして市が又バスをやつた、それが今日になつて見ますと、青バスや其の他のバスに客を

喰はれるのみならず、市の經營して居るバスが同じ系統であるところの客を喰つて居ると云ふ形になつて居る譯でありまして、これが今日の病氣の基となつて居るのであります。それで既に時は遅れましたけれども、何等かの方法で以てバスと一緒になると云ふことが行れましたならば、其の弊害から逃れることが出来、先づ統制の第一歩を印することが出来るであらうと考へて居ります。然るに此の問題を東京市の電氣局に於て立案し、これを提案せんと致しました處、市會議員はこれは電氣局長が統制會社の重役にでもなり度くて斯う云ふことを考へたのであらうと云ふことで、よい悪いを論及しないで先づ以て反對すると云ふことからしまして、此の案は其の儘にグズグズして居つて少しも發展してないのであります。故に革新同盟の方々に於ては、斯う云ふことに就て充分に根本的からお調べになつて、どちらか理窟のある方へ御盡力を願ひ度い。斯う云ふことを願ひ申し上げて置く次第であります。

松波座長 此の問題に就て婦人側から觀た意見を山田わかさんにお願ひ致し度いと思ひます。

山田わか氏 私共も女性で御座いますので、斯う云ふ問題に就ては餘り研究をして居りません。それで悉つか變なことを申し上げるよりは、此の問題とは別で御座いますけれども、一般市政に就て普段考へて居りますことを一寸申し上げさして戴き、さうして責を塞ぎ度いと存じます。

東京市政と云ふものは随分厄介なものであると云ふことは私共も普段によく聞いて居ります。さうして又、先程土方（寧）先生は此の儘では絶望だと仰言いましたけれども、私共も此の儘ではどうにもならぬだらうと云ふ氣が致して居ります。併し私共は一つの希望を持つて居ります。それはどんなことかと申しますと、一軒の家にしましたところで、楽しき家庭生活を営むのには女の力がなくてはならぬ。男ばかりで御座いますと、「男嫁に蛆が涌く」と云ふ言葉の通り、ゴタ／＼が起きて家の中がうまく参らぬもので御座いますが、東京市政も矢張り其の通りで御座いまして、男の方ばかりでやつて居られますから、蛆が湧いてゴタ／＼したり、變なことが起きたりばかりして居るのではないかと考へて居ります。それで永田（秀次郎）先生が市長さんの時代に、私共婦人はお掃除と云ふものには馴れて居りますから、東京市政のあの汚ない處、疑獄事件なんかばかりを起して居るあの〇〇のお掃除には女の力をお使ひなさいと云ふことを申し上げたことが御座います。すると何でも物を上手にお答へなさる市長さんでしたので、女の力は借りても借りなくてもどつちでもよいのだと譯の判らぬことを仰言られましたので、どうも當にならぬ市長さんだなど憤慨したことが御座います。其の次に牛塚市長さんが御就任なさいました時、丁度塵芥のことが問題になつて居りましたので、斯う云ふことは婦人の協力を求めなければ解決は出来ません、婦人の協力がなけ

れば一日六十萬噸も出る塵芥の處理はつきませんと云ふことを進言致しました處、本當にさうだなこれからは一つ女の力を借りやう、と云ふことでして、私共に非常に好意を寄せて下さいました。それで私共も其の問題解決にお力添へをし、間もなく問題は解決されたので御座いますが、そんなことで牛塚市長さんは女の力を大變お認めになられ、何かと云ふと貴女達が出て来て呉れと引張られるので、少し迷惑をして居ると云ふやうな状態で御座いました。今度革新同盟で市長さんに何か仰言います時には、どうか斯う云ふ點に就ても仰言つて戴き度いと思ひます。結局東京市政がうまく行かないと云ふのは、女の力、女の考へを無視して男ばかりでやらうとするところにあるだらうと思ひますから、今後は女の力も充分に使つて戴き度いと思ひます。

松波座長 もう一つ電氣、交通に關する問題に就て石山賢吉さんの御意見を伺ひ度いと思ひます
石山賢吉氏 私は革新同盟の中で電氣委員の方を仰せつかつて居ります。それで委員會にも二回出席を致しましたが、まだ何も報告するやうなことはありません。それでこれから申し上げますことは、私の意見を申し述べるに過ぎませんから、其のおつもりでお聞き取りを願ひ度いと思ひます。唯今岡野さんから、市債の利息を拂はなければ、市電の經營と云ふものは黒字になるのだと云ふ御説明がありました。假りに二億圓の市債を半分に致しましても、東京市の電車は尙且多額の赤

字であります。さうして又、私共の知つて居るところによりますと、東京でも、大阪でも儲からぬ鐵道、電車と云ふものは殆んどない、皆資本の利息を相當拂つて居るのでありますが、それでも儲かつて居る、にも拘らず、獨り東京市の電車ばかり年々續けて赤字を出して居ると云ふことを考へますと、其の根本に於て重大なる缺陷があるのではなからうかと云ふことを思はざるを得ないのであります。それに就ては電車は従來通りの市營がよいか、或ひは民營の方がよいかと云ふことを第一に考へなければならぬと思ふのであります。それから東京市の電車と申しましても、これは東京市全部をやつて居るのではありませんので、一番よい處は省線がやつて居ります。即ち市内目抜の一等地は省線電車に取られ、市電の方は二等地、三等地に敷設して居る、さうして三十年間經營して來て居りますが、未だ嘗つて省線電車にして一言半句の抗議を申し込んだと云ふことは聞きませんして見ますと、市の電車經營者と云ふものは、果して東京市の電車を經營するのに忠實であるか否か、甚だ疑問とせざるを得ないのであります。

第二が料金の問題であります。東京市並びに郊外に澤山な電車がありますが、均一料金を取つて居るのは東京市電唯一つでありまして、他は全部區間制であります。地下鐵、郊外電車、バス等皆悉く區間制であります。それにも拘らず、東京市の電車ばかりは、創立此の方卅年、料金に變更が

ありましたけれども、均一制を採つて來たと云ふことは何時でも同じであります。斯うした事を考へますと、其の經營に缺陷があると云ふことを考へざるを得ないのであります。

更に又電車の運轉に致しましても、何等統制が取れてない、我々が折角電車に乗らうと致しましても、なか／＼來ない、それで他のものに乗つて仕舞ひます。又電車の形に致しましても、一度決めれば永久に變へないと云ふ状態にして、以前として、大きな圖體をした電車を動かして居りますが、あの車體をもつと小さくし、チョコ／＼小出しに數多く運轉する様にしたら、もつとよいのではないかと思はれるのであります。更に又、一番澤山の經費を占めて居るのは電力であります。東京市電は發電所は一つも持ちません、だから非常に高い電氣を買つて居るのであります。小河内の貯水池が完成致しますと、もつと廉い電氣が出来るさうであります。此の貯水池に就ては非常な疑問があります。現に一昨日の水道委員會に於て、水道局擴張課長は、これには斯う云ふ缺陷があるから、大金を掛けて此の計畫を進めると云ふことは全く無駄なことであると云ふことを言明して居ります。何をやつて居るか譯が判らるのであります。廉い電氣が得られる様になると云ふことは何時のことだか判りません。

さうしたいろ／＼な點を改善して、どうにかして此の市電と云ふものを更生さして行かなければ

ならぬ、さうして赤字より黒字へ導いて行かなければならぬと思ひます。それに就て私は不肖ではありませんけれども、革新同盟の電氣の方の委員を掌つて居りますので、今後より、一層調査研究をしまして、何とか一つの成案を得、更に皆さんの御批判を得て、此の東京市の難問題を解決して行き度いと考へて居ります。

松波座長　まだ充分にお聴したいのでありますが、時間の都合もありますので、甚だ遺憾ながら八、九、十の問題に就ては今日は省略致します。

それで今日は私何か言はうとしてやつて来たのでありますが、座長にされて仕舞つたので喋舌りたくても喋舌れませんでした。ところが今度暇になりましたから、第一の問題に就て私見を申し述べることに致します。

どうも市長及び市の職員に對し、市會議員の連中があれは俺の妹の子だから是非採つて呉れ、あれは知人の子だから採つて呉れ、採つて呉れなければ……と云ふ掛引が澤山行れて居ると云ふことを聞いて居りますが、斯う云ふことからして比較的まづい者が入るのじやないか、斯んなふう考へて居ります。まづい者が入つたのでは何にもならぬ、どうしてもよい人を入れなければなりません、それには先づ市會議員が推薦をする、然も澤山の人を推薦する、其の中から市長なり、銓衡

係なりが選ぶと云ふことにしたらどうか、市會議員が推薦したから悪いと云ふ事はない、公明正大にやれば少しも悪いことはありません。それを一寸くんと云ふことで委員會の場所に呼んで見たり或ひは會議の隅の方で秘密にやると云ふやうなことを致しますから、いろくんと悪いことが起きて來ます。ですからさう云ふことなしに、堂々と推薦するなら推薦すればよい、あれは私の妹の子であるから、若し見込みがあつたら採つて呉れと判然りさう云ふことを口で言ふと間違ひが起りますから、書面を出す、口で言ひますと、後で言つた、言はないと云ふことになりすから、書面を出すそれも市會議長を通じて出す、直接に出すと弊害が起きますから、市會議長を通じて出す、市會議長はそれを市長に出す、市長はそれを見て良否を決する。斯うしたならば公明正大な遣り方であり人事行政に就て兎や角と世間の非難も受けずに済むだらうと思ひます。それで結論は、「市會議員の人事に關する意見は、總て市會議長を通じ、書面にて市會に提出する事、而して他の方法によるものは、市長及び人事係に於て一切これを無視する事」斯う云ふことになりましたが、私はさう云ふ意見を持つて居ります。

尙終りに板垣直子さん、近藤操さんから、どの問題に就ても結構でありますから、御意見を伺ひ度いと思ひます。

板垣直子氏 世界の大都市の中で路面電車のあると云ふのは東京位のもので、あれは都市美の上から非常に汚ない感じが致しますし、それから騒音の原因になりますから、成るべく路面電車はなくして置き度いと思ひます。それからこれは電車の中で見てゐることと御座いますけれども、小學校の生徒が省線や市電の中で團體で鬼ごっこ等をしたりして、他のお客さんに非常に迷惑を及して居りますから、文部省と連絡を取り、さう云ふことをしない様に訓練して置き度いと思ひます。大體そんなもので御座います。

近藤操氏 私は今までいろ／＼御意見を伺ひ、よいことも悪いことも大體判りましたが、よいことをどう云うふうにして實現して行くか、其の論を承ることが出来ず、皆抽象論ばかりであつたことを遺憾に思ひます。然らばどう云うふうにして其のよいことを實現して行くか、と云ふことになりますが、それにはどうしても推進力と云ふものを拵へなければならぬと思ふ。ところが東京市の場合に於ては其の推進力がない、國の政治には國の推進力と云ふものがありますけれども、東京市にはない、さうして派生的な力ばかり多い。それで結局他人の悪口ばかり言合つて居る、革新同盟も大體に於て悪口を言ふ爲に生れたのだらうと云ふ事を設立當時思つたことがありましたが、皆が悪口ばかり言合つて居る。つまり派生的勢力ばかりが多くあり、よいこと即ち市政革新、市政刷新

と云ふものを斷行に導いて行く所謂推進力と云ふものが一つもありません。だから何時まで経つても烏合の衆でして、事は一つも進まない。だからどうしても其の推進力と云ふものを積極的に作つて行かなければならぬと思ひますが、其の推進力は何かと言へば要するに市民の輿論です。つまり現在の市の制度に於ては、市會の権限と云ふものは非常に大きく、市會は非常に強いものになつて居る、これは六大都市が大體同じであります、それが何故東京の市會だけ悪いのだらうか、それは市會議員の連中が自制しないからです。自制と云ふことは、自分の持つて居る權利、或ひは權力と言ひますか、それを定められた以上に使はぬ、さうして市の理事者に自由に仕事をやらせると云ふことです、其の自制が未だ出来て居ませんが、併し未だ出来て居りませんが、今日の市會と云ふものは大分よくなつて來た、私は十四、五年市政のことに關知して居りますが、ずつと見て大分よくなつて來て居ると思ふ。兎に角悪くはなつて居ません。又現在でも多少づゝよい方向つて居るこれは結局市民の輿論と云ふものを恐れる結果だらうと思ひます。だから市民の輿論と云ふものを喚起し、それを市會に反映させて議員の自制を促し、同時に推進力とする、さう云ふことが最も必要だらうと思ひます。さうすれば市會議員の連中は悪いことは出来ませんから、人事の行政も明朗化されるでありませうし、又其の他の市政の刷新と云ふことも容易に出来るでありませう。

それから不當調査費のことが問題になつて居りますが、私自身の意見としては、議員の歳費は三千圓でも四千圓でもよい、實際職業議員と言ひますか、職業になつて仕舞つて他は悪いことをしな
いと云ふならば四千圓、五千圓やつてもよいと思ふ、東京市の何億と云ふ金から見ますと、非常に
小さなものである。殊にシカゴ、紐育等では非常に澤山の歳費を出して居る、尤も人数が少ない爲
もありませうが、兎に角澤山の歳費を出して居る。さう云ふ關係からして、此の問題は餘り問題に
なるやうな問題ではなかつたのでありますが、それが問題になつた、何故かと言ふと、御承知の通
り、市の財政が非常に苦しい、さうして市長、助役共に、其の俸給の一部を寄附すると云ふ時に自
分等の歳費は上げた。さう云ふことからして問題にされたのでありますが、これは問題にすると云
ふことが當り前だらうと思ふ。のみならず、それからは悪いことをやつて居ないかと云ふと、少し
も減つて居ない、却つて増して居るやうな有様でありますから、斯う云ふ我利々々の連中に對して
は二千二百圓の歳費、六百圓の調査費等を拂ふ必要はありませんから、革新同盟としては不當調査
費の撤廢と云ふことばかりでなく、もう一步進め、元の歳費にまで下げると云ふ運動に乗り出す必
要があらうと思ひます。

それから企畫局の問題ですが、これは全く獨立した機關にし、全く公平な立場になつて誰が見て

も、其の計畫が正しいと認められる案を立てることの出来る機關にしなければならぬと思ひます。
さうして企畫局としても、市會が改選され、市長が替つても、誰でも實行出来るやうな計畫を作る
必要があるんじゃないか、即ち輿論が正しいと認めるやうな計畫を立てる様にしなければならぬと
思ひます。

それから交通統制の問題であります。私は今まで此の問題に就ては深い關心を持つて居りません
でしたが、今年の春の爭議以來、特に深い關心を向けて居ります。と云ふのは、此の春の交通爭議
あのことは非常に重視しなければならぬと思ふ、尤も市の爭議は左程ではない、何故かと言ひます
と、都市の交通機關と云ふものゝ一番大きな使命は、所謂勤人を住宅より勤場に運ぶ、勤場より家
まで運ぶ。これにあると思ひますが、ところが市電は都市が膨脹するに従つて、其の使命を果さな
くなつて来る。今其の使命を果して居るのは何かと云ふと省線、或ひは社線、市電と住宅とを結ぶ
いろ／＼な交通機關、それにはバスもあれば電車もありますが、此の省線、市電と住宅との間を結
ぶ交通機關に同時にゼネストをやられたらどうなるか、それこそ大きなことです。だから警視廳で
はゼネストは怪しからぬ、それが全部に影響しては大變であると云ふことから、此の春の郊外電車
及びバスのゼネストには彈壓的態度に出られたものと思ふ。ところが市電でありますと、バスもあ

る、省線もある、タクシーもある、だから一寸不便は感じますけれども、さして困らない。けれども郊外の方はさうは行かない、それに代る交通機関がないのですから、それらにゼネストをやられたら大變なことになつて仕舞ふ。ところが郊外の各電車とバスとの従業員の状態を見ますと、同じ仕事をやりながら、片方の給料は八十五圓であるに對し、片方は四十圓しかない、唯會社が違ふ爲に同じ仕事をやりながら、そんなに違ふと云ふ有様であります、これでは必ず水平運動が起るに決つて居る。さうした根本問題を検討しないで、ゼネストは不可ぬ、ストライキは怪しからぬと云ふことで彈壓等をやられることなどはどうかと思ふ。どうしてもこれは根本的に改善を加へ、全面的に統制を加へて、さうした危険性のない交通機關にしなければならぬものと思ひます。ところがそれに對して當局者は一體熱意を以てやらうとして居るのだらうか。近くは昭和七年にも市電のストライキがあつた、九年にもあつた、それから今年の春にもあつたけれども、それが解決をして仕舞ふともう知らぬ顔をして居る。さうして又常普段交通統制をしなければならぬと口では言ひますけれども、唯言ふだけであつて、それを實行にまで持つて行くと云ふ熱意を以てやつて居る人は一人もない。だから何時迄経つても目茶苦茶で支離滅裂の状態から脱することは出来ない。これは何とかして便宜上、又經濟上將又帝都將來の發展に備へる意味から言つて、一日も早く此の交通の統

制と云ふことに眞剣になつて乗出して戴き度いと思ひます。

其他人事に關する問題、市會及び市會事務局の改善に關する問題、都制の問題、市廳舎の問題等々、これから積極的に進んで改善をし、實行して行かなければならん問題が澤山ありますが、それらに就ては時間がないので述べません。要するに東京市會と云ふものも大分よくなつて來つゝあるこれは大きな見つけものですから、これをうまく利用して進めて行けばそれらの改善も思ひの外早く成功することが出来るでせう。それには先づ市民の輿論を旺んに起し、其の輿論を統一して市會に反映させる。さうすれば市會議員と云ふものはさう悪いことは出来なくなり、又無暗に反對すると云ふ譯にも行かなくなり、自然市政刷新の政策が行れる様になつて來る。つまり、言葉は少し亂暴かも知れませんが、市民の輿論を以て市會を押へ、輿論が推進力となつて市會をよい方に導いて行く。さうすることが市政の前途に横たはる總ての問題を解決する根本要件だらうと思ひます。従つて我々報道に従事する者は、市民の輿論を市會に反映させる、市民の聲を市會に反映させるべく及ずながら骨を折るつもりですけれども、私共がやるばかりでなく、市民の輿論に訴へ、輿論を旺んにし、統一して、それが市會に反映することが出来る程のものであると云ふ状態を作ると云ふやうな方面に革新同盟邊りが大いに活躍されんことを此の際お願ひ申し上げて置きます。

松波座長 本日は市政殊に東京市政に關する權威の方々のお集りを願ひまして、今まで御意見を伺ひましたので御座いますが、今日の皆さんの御意見は、唯今近藤（操）君の言はれました通り、これが輿論となり、然も非常に強い輿論となり、東京市政の上に直接間接其の影響を及し、東京市政も漸次改善をされて行くことと思ひます。此の點時間は短かう御座いましたが、頗る効果を得たものと信じまして、發起者たる革新同盟及び御賛成の上お出で下さいました皆さんに對し、厚く御禮を申し上げます。これにて散會致します。

東京市政革新同盟規約並役員

規約

- 第一條 本同盟ハ東京市政革新同盟ト稱ス
- 第二條 本同盟ハ本部ヲ麹町區丸ノ内仲六號館三號ニ置ク
- 第三條 本同盟ハ憂市廉潔ノ市民ヲ糾合シテ銳意市政ノ革新ニ當リ帝都自治ノ完成ヲ期ス
- 第四條 前條ノ目的ヲ達成スル爲メ本同盟ハ左ノ活動ヲ爲ス
 - 一、市政ニ對スル市民ノ關心ト理解ヲ深ムル爲メ演說會其他各種會合ノ開催
 - 二、市政ノ運用ニ關スル不斷ノ檢討及ヒ市理事者議員又ハ監督官廳ニ對スル具體的建議
 - 三、優良議員ノ選出
 - 四、市會内部ニ於ケル革新方策ノ遂行
- 第五條 本同盟ハ同盟ノ趣旨ニ賛如シソノ活動ニ奉仕的協力ヲ惜マサル同志者ヲ以テ組織ス

第六條

本同盟ニ左ノ役員ヲ置ク役員ノ任期ハ一ケ年トス但シ重任ヲ妨ケス

委員長 一名
委員 若干名 但シ内若干名ヲ常任委員トス

書記長 一名

第七條 本同盟ニ評議員若干名ヲ置ク

第八條 本同盟ニ必要ナル各部ヲ設ケ委員若干名ヲ置ク

第九條 本同盟ノ經費ハ同盟員及ヒ賛如員ノ據出金ヲ以テ支辨ス

第十條 賛如員ノ規定ハ別ニ之ヲ設ク
同盟員タルニハ本同盟員ノ推薦アルモノニシテ常任委員會ノ議ヲ經タルモノナルコトヲ要ス

第十一條 同盟員ハ同盟費年額一圓ヲ納入スルモノトス

第十二條 同盟員ニシテ本同盟ノ趣旨ニ反スル行爲アリト認ムル場合ハ除名ス

賛助員規定

- 一、東京市政革新同盟ノ趣旨ニ賛成シ更ニ之ヲ經濟的ニ援助スル者ヲ賛助員トス
- 二、賛助員ハ同盟員ト否トヲ問ハズ一口以上ノ寄附者タルコト
- 三、寄附額ハ一口ヲ毎月五圓トス
- 四、寄附金ハ毎月同盟本部ヨリ集金ヲ行フ

役員 (五十音順)

一、委員長

丸山 鶴吉

一、委員

- 石山 賢吉
- 上田 辰卯
- 菊池 寛
- 近藤 次繁
- 千石 興太郎
- 瀧澤 逸平
- 道家 齊一郎
- 三輪 田元道
- 市川 清敏
- 大島 正徳
- 後藤 隆之助
- 近藤 乾郎
- 會我 祐邦
- 月田 藤三郎
- 松野 喜内
- (○印・常任)

一、書記長兼

市川 清敏

一、評議員

- 安部 磯雄
- 赤松 範一
- 岡田 和一郎
- 木村 増太郎
- 酒井 忠正
- 下村 宏
- 高橋 三雄
- 千葉 三郎
- 寺田 四郎
- 土方 寧郎
- 松井 毅
- 林 毅
- 山口 喜三郎

- 麻生 正藏
- 石井 正藏
- 大村 一
- 小島 三郎
- 佐野 利器
- 高島 米峰
- 高橋 龜吉
- 塚本 清治
- 中川 望
- 福島 四郎
- 三田 松太郎
- 矢吹 慶太郎
- 山崎 林太郎

終

昭和十二年九月二十七日印刷納本
昭和十二年九月三十日發行

定價十錢

東京市麹町區丸ノ内仲六號館三號

編輯兼
發行人

明石重一

印刷人

高橋敏雄

印刷所

東京市改革新同盟印刷部

東京市麹町區丸ノ内仲六號館三號

發行所

東京市改革新同盟

電話丸ノ内三六四一番
振替東京八三一―二番